

# 1月給食だより

令和7年1月8日  
練馬区立旭丘中学校

## あけましておめでとうございます 年

冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

## お年玉はもちだった!?

お正月は、普段より日本文化を感じる機会が多かったのではないのでしょうか。さて、子どもたちにとって、お正月の楽しみといえばお年玉。新年を祝って、大人から子どもへお小遣いを渡す風習です。もともとは、お正月の「歳神様（年神様）」にお供えた「もち」を、歳神様からの贈り物として分け与えたことが始まりとされ、「年玉」とは「歳神様の魂」を意味します。

## 今月の献立から

### 8日（木）☆ お正月の献立 ☆

給食では「紅白なます」「京風雑煮」を作ります。一年の幸せを願いましょう。

### 14日（水）☆ 練馬産長ねぎの献立 ☆

冬の寒さで風味が増した練馬産長ねぎを使って「ネギ塩カルビ丼」を作ります。

### 15日（木）☆ 小正月の献立 ☆

昔からあずきの赤い色が邪気を祓うと考えられているので、小正月の朝にあずき粥を食べる風習があります。給食室で小豆を炊いて、「白玉ぜんざい」を作ります。

### 24日（日）～30日（金）☆ 全国学校給食週間 ☆

今年は地場産物を使ったメニューと、昔の給食を再現したメニューが登場します。

### 29日（木）☆ D組リクエスト給食 ☆

D組のリクエスト給食です。お楽しみに♪

## 1月24日～30日は、全国学校給食週間です!

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを皆さんに知ってもらい、学校給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思います。



## 学校給食の移り変わりを見てみよう!

明治22年	戦後(昭和20～30年代)	現在
私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。	支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。	地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。

## 給食の食材の主な産地(11月)

- ・練馬区（キャベツ）
- ・東京都（キャベツ、小松菜）
- ・北海道（さんま、にんじん、玉ねぎ、じゃが芋、いんげん）
- ・秋田県（長ねぎ）
- ・栃木県（もやし）
- ・埼玉県（きゅうり、豚肉）
- ・長野県（マッシュルーム、セロリー、えのき、しめじ）
- ・和歌山県（みかん）
- ・福岡県（万能ねぎ）
- ・青森県（ごぼう、にんにく、りんご）
- ・宮城県（かつお）
- ・群馬県（キャベツ、白菜）
- ・千葉県（大根、にら、さつまいも）
- ・静岡県（セロリー）
- ・高知県（しょうが、パプリカ）
- ・宮崎県（きゅうり）
- ・沖縄県（ピーマン）